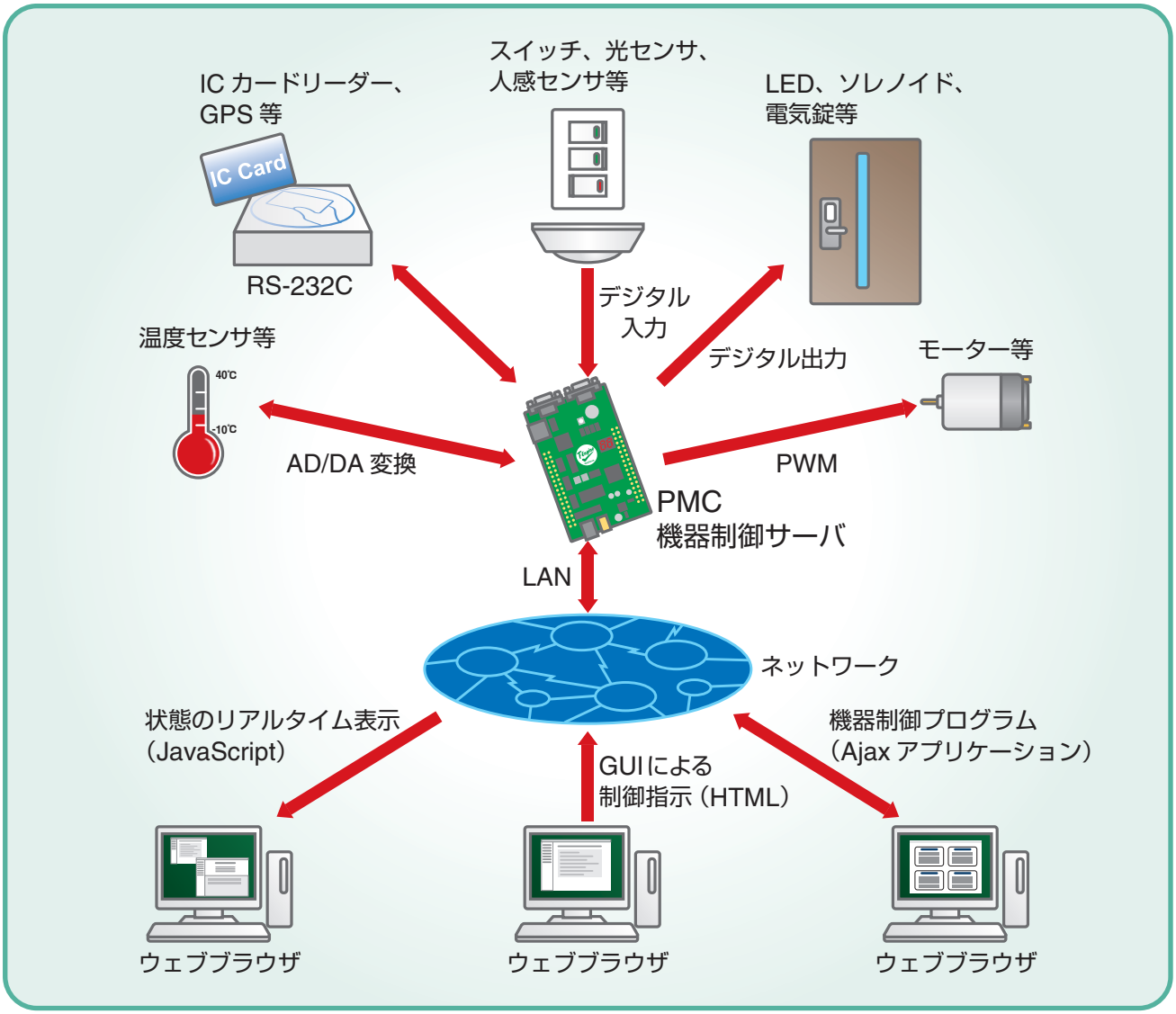
PMC 機器制御サーバ

ブラウザから組込み機器を制御できるT-Kernel用サーバソフト



「PMC 機器制御サーバ」の製品仕様

ウェブサーバ機能	HTTP1.1、認証機能、ユーザ作成 HTML + JavaScript の アップロード機能
機器制御機能	Ajax による機器との入出力、状態変化待ち、JavaScript 用の機器制御 ライブラリ
機器制御I/F	デジタル入出力(DIO)、A/D 変換、D/A 変換、シリアル(RS-232)、 パルス出力(PWM)、LED、スイッチ類

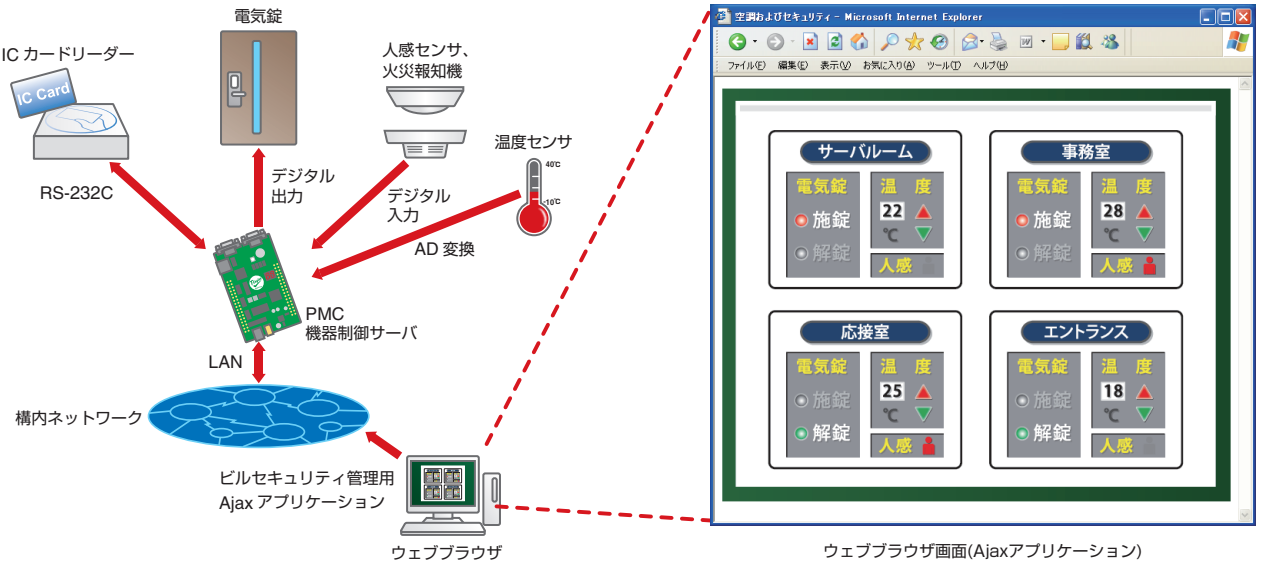
「PMC機器制御サーバ」の特長

- ネットワークを通じて、パソコン等のウェブブラウザ(*1)から機器を制御できます。
- T-Engine応用製品やT-Kernel上で動作しますが、標準機能を利用するだけであれば、T-Kernelの知識やT-Kernel上のプログラミングは不要です。
- GUI端末となるパソコン上での具体的な処理内容やユーザインタフェースは、HTMLやJavaScriptを使って、簡単に定義し、カスタマイズすることが可能です。JavaScriptやAjaxの手法を使うことで、表現力の豊かなGUIを実現できます。
- 複数のパソコン上のウェブブラウザから同時にアクセスすることも可能です。たとえば一つの機器を複数の箇所から同時にモニタリングすることができます。
- Ajaxの技術を利用した非同期通信が可能です(*2)。制御対象機器の状態変化をリアルタイムにブラウザの画面に表示できるため、従来のポーリングなどの手法に比べて通信量を大幅に削減できます。
- 権限のないユーザからのアクセスを拒否するために、ユーザ名とパスワードによるセキュリティ制限を設けることが可能です。

(*1)Internet ExplorerやFirefoxなど、XMLHttpRequestをサポートするブラウザに対応しています。詳細はお問合せ下さい。

(*2)ブラウザ側から機器制御サーバに対して機器状態の監視要求を出すと、サーバ側は機器状態が変化するまで待って、変化した時点で非同期(リアルタイム)に応答を返し、ブラウザ側は変化のあった部分のみ表示を更新します。このような非同期通信の間も他の処理を並行して行えるため、ユーザを待たせてストレスを与えることなく、快適に操作できます。

ビルセキュリティシステムへの応用例



ウェブブラウザ画面(Ajaxアプリケーション)

製品構成

- 機器制御サーバ本体(*3)
- DIOドライバ(*3)
- JavaScript用の機器制御ライブラリ(*4)
- 機器制御のサンプルHTMLファイル(*4)
- ドキュメント

(*3)制御用ボード上で動作します。

(*4)パソコンのウェブブラウザ上で動作します。

製品名および標準価格

PMC機器制御サーバ/ARM7-AT91

PMC機器制御サーバ/T-Kernel 2.0リファレンスキット

標準価格 各100,000円(税別)

※1 上記の製品には、10台までの制御用ボード上で実行可能なバイナリライセンスを含みます。

※2 ご指定のハードウェア上に機器制御サーバ本体を移植あるいはカスタマイズしてご提供するカスタム版の受注も承ります。

関連製品

T-Kernel 2.0リファレンスキット
標準価格 85,000円

Teacontroller タッチパネルLCD無し
標準価格 65,000円
タッチパネルLCD付き
標準価格 85,000円

μTeaboard/ARM7-AT91
標準価格 27,000円

参考図書・関連情報

T-Kernel標準ハンドブック改訂新版　坂村 健 監修
T-Kernel組込みプログラミング強化書　坂村 健 監修
実践TRON組込みプログラミング　坂村 健 監修
TRONWARE(隔月刊のTRON情報誌)
μITRON4.0標準ガイドブック
以上、パーソナルメディア刊

※T-Kernel標準ハンドブック改訂新版はプリントオンデマンド版のみのご提供となります。その他は紙書籍と電子書籍でご提供いたします。

パーソナルメディアのT-Engineソリューション
http://www.t-engine4u.com/
T-Engineフォーラム　http://www.t-engine.org/

パーソナルメディア株式会社　〒141-0031 東京都品川区西五反田1-29-1 コイズミビル
TEL.03-5759-8305／FAX.03-5759-8306／E-mail:te-sales@personal-media.co.jp／http://www.personal-media.co.jp/

■Teacubeは、パーソナルメディア株式会社の登録商標です。■TRONは、"The Real-time Operating system Nucleus" の略称です。■eTRONは、"entity and economy TRON" の略称です。
■TRON、eTRON、T-Engine、μT-Engine、T-Monitor、T-Kernelは、コンピュータの仕様に対する名称であり、特定の商品を指すものではありません。
■本資料に記載された各社の製品名などは、各社の商標または登録商標です。■機能向上や品質改良などのため、本資料に記載された内容は、予告なく変更される場合があります。

PM181-P01-04.1312